

3. 市民アンケート調査について

(1) アンケート調査の目的と概要

地域公共交通網形成計画の作成にあたっては、必要となる市民の日常の移動実態を把握するとともに、公共交通に対する考え方やニーズなどを把握するために市民アンケート調査を実施します。

表 1 調査概要

調査対象	世帯単位で実施し 3,350 世帯に配布 16 歳以上(高校生以上)の世帯員全員に記入を依頼
対象の抽出方法	地区ごとの指定配布数に応じて住民基本台帳から抽出
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
回収見込み	回収率 35%程度 (市民意識調査などの回収率を参考としてそれよりもやや低めの見通し) 世帯における個人サンプル数をおおよそ 2.0 人分と見込む(= 16 歳以上人口)
調査内容	移動実態、地域公共交通に対するニーズ、意識など [(2)参照] 調査票のボリュームは A 4 版 8 ページを想定
実施スケジュール	6 月 15 日発送～ 7 月 11 日回収期限(予定)

(2) 調査項目と調査結果の活用方法について

調査項目と活用方法は下表のものを予定しています。調査票の内容案について資料 4 別紙 1 に示します。

表 2 調査項目と活用方法

項目	調査票との対応	質問事項	活用方法
基本属性	[]世帯・属性 問 1～問 4	・居住地区、居住年数 ・性別、年齢、職業	・属性を区分した分析に活用 (地区別、男女別、年代別の状況など)
移動制約等に関する属性	[]世帯・属性 問 5～問 9	・免許の有無、運転の有無 ・免許返納の可能性 ・送迎サポート	・交通不便な層の判別 ・交通不便者を抽出した分析等に活用
日常の移動実態	[]日常の移動 問 10	・日常の交通行動 (重要なものを 2 つまで回答) 起終点、移動目的、目的施設 出発時刻、到着時刻、頻度 利用交通手段・乗り換え 立ち寄り先施設	・市民の移動実態を把握し、交通体系の検討における路線、ダイヤなどの基本的事項の検討に活用
公共交通の利用実態と潜在需要	[]ニーズと意識 問 11	・公共交通の利用頻度 ・公共交通の不便意識 ・アクセスに支障のある施設	・新規路線、新規施策の検討材料として活用
公共交通に対する一般的な利用条件やニーズ	[]ニーズと意識 問 12～問 13	・バス利用にあたっての許容できる距離、運行頻度、乗り継ぎ、運賃負担 ・バス待合環境へのニーズ	・計画論などを構築するうえでの根拠として活用
市の今後の交通施策への要望	[]ニーズと意識 問 14	・市の今後の交通政策全般の必要性	・新規施策に対する市民ニーズへの合致の有無を把握
その他・自由意見	[]ニーズと意識 問 15	・公共交通に対する自由意見	・選択型のアンケートでは拾いきれない公共交通に対する幅広い意見・要望を把握し、計画に反映